一般社団法人日本母性看護学会　　令和7（2025）年度　課題指定型研究助成申請書

一般社団法人　日本母性看護学会

理事長　　石井　邦子　殿

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **申請者（研究代表者）** | | | |
| **ふ　り　が　な**  **氏　名** | 印 | 歳  （　　　年　　月生） | 会員番号（会員歴） |
| （　　年） |
| **所属機関　および**  **職名** |  | | |
| **所属機関住所** |  | | |
| **TEL/FAX** |  | | |
| **E-mail** |  | | |
| **自宅住所** |  | | |
| **TEL/FAX** |  | | |
| **E-mail** |  | | |

|  |
| --- |
| **研究課題名**（40字以内） |
| **研究の概要**（本研究の目的、社会の要請度・緊急度の高さ、「男性の育児支援」に対してどのようなエビデンス構築及び政策提言等に貢献し得るかを含めてください。 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **共同研究者** | | | |
| **会員番号** | **ふりがな**  **氏　　　名** | **所属・職名**  **（現在の専門領域）** | **本研究での具体的な役割**  **（分析・考察など具体的に）** |
|  |  |  |  |

|  |
| --- |
| **申請者（研究代表者）の研究略歴**  ・研究履歴を、現在から順に年度をさかのぼって記入してください。  ・特に、本研究課題と関連する研究には下線を引いてください。 |

|  |
| --- |
| **研究目的、研究方法など**文字サイズ10.5ポイントで枠内に記載して下さい。   1. 本研究の目的及び学術的背景及び社会的・学術的意義、②社会の要請度・緊急度の高さ、③本研究で予測される成果が「男性の育児支援」のエビデンス構築及び政策提言等に貢献し得るという合理的な説明、④研究期間内に確実に研究目的を達成するための研究計画及び研究体制の準備状況・研究遂行能力について具体的かつ明確に4ページ以内で記載してください。 |

|  |
| --- |
| **人権の保護及び法令等の遵守への対応**  本研究を遂行するに当たって、研究対象者の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など指針・法令等（国際共同研究を行う国・地域の指針・法令等を含む）に基づく手続が必要な研究が含まれている場合、講じる対策と措置を、１頁以内で記述してください。 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **研究経費の内訳** | | | |
| 費目 | 品名・事項 | 費用（千円） | 内訳 |
|  |  |  |  |
| **合計** | |  |  |
| **各経費の必要性** | | | |
|  | | | |

●研究助成金の使途に関して，以下に、ご留意ください。

１．各年度に分けて記載してください。

２．助成を受けた研究成果報告を行わない学会参加の場合の旅費は認められません。

３．学会参加に関する登録料（参加費）は認められません。

４．研究機関等に設置されている備品等

５．金券（クオカードや図書カードなど）については受領書が必要です。

※使用できなった助成金（残金）は返金いただきます。その際の振込み手数料は助成を　受けた方の個人負担とします。